



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年1月28日

上場会社名 小林製薬株式会社

上場取引所 東

コード番号 4967 URL <http://www.kobayashi.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小林 章浩

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 グループ統括本社本部長 (氏名) 山根 聡 TEL 06-6222-0142

四半期報告書提出予定日 平成26年2月7日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	95,726	0.9	15,064	3.1	15,510	△2.9	10,249	△11.7
25年3月期第3四半期	94,828	△7.7	14,615	△12.7	15,968	△7.1	11,606	22.5

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 12,407百万円 (3.4%) 25年3月期第3四半期 11,993百万円 (28.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
26年3月期第3四半期	250.30	—
25年3月期第3四半期	283.44	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
26年3月期第3四半期	165,511	123,812	74.8	3,022.25
25年3月期	157,106	114,872	73.1	2,805.27

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 123,755百万円 25年3月期 114,871百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
25年3月期	—	39.00	—	43.00	82.00
26年3月期	—	43.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	41.00	84.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	127,000	4.5	17,700	4.7	19,400	3.9	12,600	3.5	307.70

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期3Q	42,525,000 株	25年3月期	42,525,000 株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	1,576,787 株	25年3月期	1,576,537 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期3Q	40,948,297 株	25年3月期3Q	40,948,580 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国の経済は、政府による金融・財政政策に対する期待感から円安や株価の上昇など回復の兆しが見られるものの、雇用環境や所得の改善は限定的であることから個人消費は依然厳しく、先行き不透明な状況で推移いたしました。

そうした状況の中で当社グループは、経営理念である「人と社会に素晴らしい快を提供する」の精神を一層発揮すべきときと考え、顧客の潜在ニーズを満たす新製品やサービスの提供、市場の活性化を促す既存ブランドの育成、今後の成長事業への積極的な投資に努めてまいりました。

その結果、売上高は95,726百万円と前年同期と比べ897百万円(0.9%)の増収、営業利益は15,064百万円と前年同期と比べ449百万円(3.1%)の増益、経常利益は15,510百万円と前年同期と比べ457百万円(△2.9%)の減益となりました。四半期純利益においては10,249百万円と前年同期と比べ1,356百万円(△11.7%)の減益となりました。

セグメントの業績の概要は次のとおりであります。

家庭用品製造販売事業

当事業では、新市場の創造と既存市場の拡大に努めた新製品を39品目発売いたしました。なかでも、湿疹・皮膚炎を鎮める漢方油膜軟膏「アピトベール」や、除菌処方の水洗トイレ用芳香洗浄剤「液体ブルーレットおくだけ除菌EX」、愛犬家用芳香消臭剤「消臭元 いぬのきもち」などが好調に売上を伸ばし、業績に貢献しました。

既存品においては、口腔衛生品では歯間清掃具「糸ようじ」「やわらか歯間ブラシ」、芳香消臭剤ではインテリアフレグランス「消臭元 香るStick」や水洗トイレ用芳香洗浄剤「ブルーレット」、家庭雑貨品ではパイプクリーナー「かんたん洗浄丸」、食品では健康茶「小林製薬の杜仲茶」の売上が好調に推移しました。さらに、東南アジア・米国などで販売している衛生雑貨品の額用冷却シートが順調に売上を伸ばしました。

その結果、売上高は88,379百万円と前年同期と比べ1,829百万円(2.1%)の増収、セグメント利益(経常利益)は13,819百万円と前年同期と比べ166百万円(△1.2%)の減益となりました。なお、営業利益は14,414百万円と前年同期と比べ281百万円(2.0%)の増益となりました。

(売上高の内訳)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)		増減	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	増減率 (%)
医薬品	17,336	20.0	17,282	19.6	△54	△0.3
口腔衛生品	12,856	14.8	12,987	14.7	131	1.0
衛生雑貨品	12,354	14.3	13,320	15.1	965	7.8
芳香・消臭剤	24,548	28.4	25,212	28.5	664	2.7
家庭雑貨品	3,600	4.2	3,704	4.2	104	2.9
食品	6,235	7.2	6,572	7.4	337	5.4
カイロ	9,618	11.1	9,299	10.5	△319	△3.3
合計	86,550	100.0	88,379	100.0	1,829	2.1

(注) 1. 売上高には、セグメント間の内部売上高又は振替高を含んでおり、その金額は前第3四半期連結累計期間では計2,328百万円、当第3四半期連結累計期間では計2,497百万円となっております。

2. 当第3四半期連結累計期間よりカテゴリーの一部見直しを行いました。その結果、前第3四半期連結累計期間の売上高において、平成25年1月29日付け公表の「平成25年3月期 第3四半期決算短信」に記載のものから衛生雑貨品は2,318百万円増加し、カイロは2,318百万円減少しております。

通信販売事業

当事業では、栄養補助食品、スキンケア製品等の通信販売を行っており、広告展開やダイレクトメールを中心とした販売促進による新規顧客の開拓と既存顧客への購入促進に努めました。

その結果、売上高は7,859百万円と前年同期と比べ271百万円(3.6%)の増収、セグメント利益(経常利益)は94百万円(前年同四半期はセグメント損失(経常損失)52百万円)となりました。なお、営業利益は88百万円(前年同四半期は営業損失56百万円)となりました。

売上高には、セグメント間の内部売上高又は振替高を含んでおりません。

医療関連事業

平成24年5月31日付けで連結子会社の小林メディカル株式会社の株式の80%を三菱商事株式会社に譲渡したため、同社は連結子会社から持分法適用関連会社となりました。なお、同社は平成24年11月1日付けで、日本メディカルネクスト株式会社に社名を変更しております。また、平成25年5月20日付けで残りの全株式も三菱商事株式会社に譲渡いたしました。

その結果、売上高は1,077百万円と前年同期と比べ1,066百万円(△49.7%)の減収、セグメント利益(経常利益)は875百万円と前年同期と比べ163百万円(△15.7%)の減益となりました。なお、営業利益は203百万円と前年同期と比べ188百万円(1,227.6%)の増益となりました。

売上高には、セグメント間の内部売上高又は振替高を含んでおりません。

その他事業

上記の3事業をサポートする当事業(運送業、合成樹脂容器の製造販売、保険代理業、不動産管理、広告企画制作等)では、各社が独立採算で経営をしているものの、3事業への利益貢献もその目的としており、資材やサービス提供についてその納入価格の見直しを適宜行いました。

その結果、売上高は4,171百万円と前年同期と比べ1,066百万円(△20.4%)の減収、セグメント利益(経常利益)は973百万円と前年同期と比べ255百万円(△20.8%)の減益となりました。なお、営業利益は286百万円と前年同期と比べ235百万円(△45.1%)の減益となりました。

売上高には、セグメント間の内部売上高又は振替高を含んでおり、その金額は前第3四半期連結累計期間では計4,363百万円、当第3四半期連結累計期間では計3,265百万円となっております。

(2) 財政状態に関する説明

総資産は、前連結会計年度末に比べ8,404百万円増加し、165,511百万円となりました。主な要因は、現金及び預金の減少(2,385百万円)、受取手形及び売掛金の増加(6,601百万円)、有価証券の増加(2,196百万円)、等によるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べ535百万円減少し、41,698百万円となりました。主な要因は、未払法人税等の減少(1,679百万円)、賞与引当金の減少(894百万円)、支払手形及び買掛金の増加(773百万円)等によるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べ8,940百万円増加し、123,812百万円となり、自己資本比率は74.8%となりました。主な要因は、利益剰余金の増加(6,727百万円)、為替換算調整勘定の増加(1,426百万円)等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の連結業績予想につきましては、平成25年5月1日付け公表の「平成25年3月期 決算短信」に記載の業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	45,862	43,476
受取手形及び売掛金	30,818	37,419
有価証券	1,506	3,702
商品及び製品	8,500	8,570
仕掛品	584	542
原材料及び貯蔵品	2,113	2,454
繰延税金資産	3,885	3,530
その他	1,141	1,910
貸倒引当金	△58	△50
流動資産合計	94,353	101,557
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,259	6,175
機械装置及び運搬具（純額）	2,410	2,581
工具、器具及び備品（純額）	1,111	1,046
土地	3,425	3,429
リース資産（純額）	385	204
建設仮勘定	137	679
有形固定資産合計	13,730	14,116
無形固定資産		
のれん	3,637	3,788
商標権	350	227
ソフトウェア	896	902
リース資産	14	12
その他	193	318
無形固定資産合計	5,092	5,249
投資その他の資産		
投資有価証券	37,891	38,467
長期貸付金	416	556
繰延税金資産	324	323
投資不動産（純額）	3,067	3,068
その他	2,366	2,306
貸倒引当金	△135	△135
投資その他の資産合計	43,930	44,586
固定資産合計	62,753	63,953
資産合計	157,106	165,511

(単位：百万円)

前連結会計年度
(平成25年3月31日)当第3四半期連結会計期間
(平成25年12月31日)

負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,577	12,351
短期借入金	4	62
未払金	12,360	13,030
リース債務	262	142
未払法人税等	4,091	2,412
未払消費税等	542	654
返品調整引当金	1,109	1,206
賞与引当金	1,881	987
事業整理損失引当金	1,047	1,047
資産除去債務	10	10
その他	1,588	2,045
流動負債合計	34,477	33,951
固定負債		
リース債務	163	98
退職給付引当金	4,883	4,824
役員退職慰労引当金	20	21
資産除去債務	72	88
その他	2,616	2,714
固定負債合計	7,757	7,747
負債合計	42,234	41,698
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,450	3,450
資本剰余金	4,219	4,219
利益剰余金	109,946	116,674
自己株式	△4,703	△4,704
株主資本合計	112,912	119,639
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,357	4,850
繰延ヘッジ損益	504	743
為替換算調整勘定	△2,904	△1,477
その他の包括利益累計額合計	1,958	4,116
新株予約権	—	55
少数株主持分	0	0
純資産合計	114,872	123,812
負債純資産合計	157,106	165,511

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	94,828	95,726
売上原価	39,718	39,848
売上総利益	55,110	55,877
販売費及び一般管理費	40,494	40,812
営業利益	14,615	15,064
営業外収益		
受取利息	139	170
受取配当金	238	306
受取ロイヤリティー	533	492
不動産賃貸料	206	206
持分法による投資利益	522	121
為替差益	114	—
その他	295	135
営業外収益合計	2,050	1,433
営業外費用		
支払利息	20	13
売上割引	593	571
不動産賃貸原価	56	53
為替差損	—	332
その他	26	16
営業外費用合計	697	988
経常利益	15,968	15,510
特別利益		
固定資産売却益	0	0
投資有価証券売却益	186	3
関係会社株式売却益	2,285	514
その他	180	39
特別利益合計	2,653	557
特別損失		
固定資産除売却損	21	27
投資有価証券評価損	540	—
減損損失	14	28
製品不良関連損失	264	20
事業整理損	150	—
その他	66	18
特別損失合計	1,058	94
税金等調整前四半期純利益	17,563	15,973
法人税、住民税及び事業税	6,243	5,441
法人税等調整額	△286	282
法人税等合計	5,957	5,724
少数株主損益調整前四半期純利益	11,606	10,249
少数株主損失(△)	△0	△0
四半期純利益	11,606	10,249

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	11,606	10,249
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	138	493
繰延ヘッジ損益	106	0
為替換算調整勘定	1	1,426
持分法適用会社に対する持分相当額	140	237
その他の包括利益合計	387	2,157
四半期包括利益	11,993	12,407
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	11,993	12,407
少数株主に係る四半期包括利益	△0	△0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書 計上額 (注) 3
	家庭用 品製造 販売	通信 販売	医療 関連	計				
売上高								
外部顧客への売上高	84,221	7,587	2,144	93,953	874	94,828	—	94,828
セグメント間の内部売上 高又は振替高	2,328	—	—	2,328	4,363	6,691	△6,691	—
計	86,550	7,587	2,144	96,282	5,238	101,520	△6,691	94,828
セグメント利益又は損失 (△)	13,986	△52	1,038	14,972	1,228	16,200	△232	15,968

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運送業、合成樹脂容器の製造販売、保険代理業、不動産管理、広告企画制作等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△232百万円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

「医療関連事業」において、小林メディカル株式会社の株式の80%を譲渡したことなどにより、前連結会計年度の末日に比べ、当第3四半期連結会計期間の報告セグメントの資産の金額は3,226百万円減少しております。

なお、小林メディカル株式会社は、平成24年11月1日付けで、日本メディカルネクスト株式会社に社名を変更しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

固定資産にかかる重要な減損損失を認識していないため、また、のれんの金額に重要な変動が生じていないため、固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報の記載を省略しております。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自平成25年4月1日 至平成25年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書 計上額 (注) 3
	家庭用 品製造 販売	通信 販売	医療 関連	計				
売上高								
外部顧客への売上高	85,882	7,859	1,077	94,819	906	95,726	—	95,726
セグメント間の内部売上 高又は振替高	2,497	—	—	2,497	3,265	5,762	△5,762	—
計	88,379	7,859	1,077	97,317	4,171	101,489	△5,762	95,726
セグメント利益	13,819	94	875	14,788	973	15,761	△251	15,510

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運送業、合成樹脂容器の製造販売、保険代理業、不動産管理、広告企画制作等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△251百万円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

固定資産にかかる重要な減損損失を認識していないため、また、のれんの金額に重要な変動が生じていないため、固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報の記載を省略しております。